

を被い隠くす身振り。

**可決 賛成**——決定。賛成は、誰れもがするよう右手を挙げて賛意を表する身振り。決定は、「決決」と同じ手まね。

**掛算** 両手の人差指で×字形に交叉して、掛算の符号を模写する。

**過去（昔、以前）** 五指の指頭を上にしし掌を内側にした右手を右肩越しに後方へ押しやる。体より後方を過去とする。



**傘 傘の柄を** 持ってさすように拳にした両手を上下に重ね、上になった手を

傘を開らくために、まっすぐに上げて行く。

**笠 頭の上で、両手掌を向い合わせ互の中** 指の指頭をつけ△形をつくり（笠の形）次

に、両手夫々の五指の指頭を集め合わせて左右夫々の頭から頬を伝い降して、顎の下で、顎紐を結ぶ真似。

**火山** 胸の前で掌を下に向けた手で山の形を描いて（片手にても両手にても可）、次にその山の頂上の位置の空間に、掌を右に向け、指頭を前方にさした五指をまるく彎曲させた左手（火口）の中を下から右手の拳をくぐらせて上に出すと同時に拳の五指をぱつと開いて更に上へ上昇させる。火口から火を噴き出した描写。

**家事** 家——仕事

**火事** 家——火（燃える）

**風** 五指の指頭を上にしし掌を前向けにしした両手を右肩辺りか、斜め左下へ掌を下に向けながら掃き降す。風の吹き降す様。

**舵（槳）（ハンドル）** 丸ハンドルを両手で廻わす真似。或は枝ハンドル（自転車）のハン

ドル)を握って左右に操つる真似。

賢い 指頭を前方にさした親指と人差指を合わせた手を頭の上稍横寄りに置いてから両指を開く。頭脳が開いていること。即ち「賢い」「棟功」である。「知る」「知識」ともなる。

過失 「過まち」と同じ手まね。

数 「いくつ」と同じ手まねで表わす。即ち、親指から順次に五指を数えるように折って行く。

貸す 「少し」の手まねをしたその手を前へさし出す

稼ぐ 働く——金儲ける。

風邪 左右何れかの集め合わせた指頭を咽喉につけ咳を出す表情。

固い 「石」の如と同じ手まね。

敵打ち 親指と人差指の指頭を上にし、掌を内側に向けた両手。右手を左へ、左手を

右へと腕で交叉して、夫々の親指と人差指の指頭を合わせる(これまでは「互い」の手まねを同時にそのまま両手の二指の指頭を下に向ける。

片付ける 五指の指頭を前方にさし掌を左に向けた右手。これも五指の指頭を前方にさし掌を右に向けた左手。この両手を胸の前後寄りに間隔を置いて平行にならべてから、そのままの両手を少しばかり上げて左へ移しては下げてはまた上げては左へ移して下げる。これを三度ばかり繰返して行く。物をきつしりと並らべて置く身振り。「整理整頓」でありまた「計画」「準備」ともなる。

刀(刀剣) 左脇腹のところ、左手に刀の鞘を持ち、右手で刀の柄を持つ真似をして、右手で刀を抜く身振りをすればよい。

勝つ 鼻頭の上に拳を持って行って、「鼻高」即ち「天狗」(「よし」と云う手まね)